

ゆるり

公式 HP



創刊号

主な活動拠点が東京近郊であるカンパニーの活動は児童劇や一般公演、高齢者施設等でのレクリエーション、その他イベント活動やMC 等様々です。それらの活動内容紹介のための不定期発行の広報紙です。

お芝居やさん鈴木 KE 企画カンパニー情報紙 発行年月：2024 年 09 月

発行：お芝居やさん鈴木 KE 企画カンパニー 制作部

お芝居やさん鈴木 KE 企画カンパニーホームページ：https://suzukikekikaku.com

下半期の総会開催

私たちは、半期ごとに総会を開いています。前期の活動報告やメンバーの近況報告を行い、その後今期の予定の連絡等を行っています。コロナウィルス蔓延の功罪は色々ありましたが、良かったのは、会議が手軽にできるようになったことでしょうか。今回の総会でも、現在北海道にいるメンバーがLINEを使って、無事参加できました。



総会の様子

今期の目玉はやっぱり十一月に予定している二世代のチャレンジ公演です。(詳細は隣欄参照)その他、撮影技術を磨いている駒山睦望主導のもと、スタジオを借りての写真撮影を行うことも決まり、二世代の写真が新しくなります。撮影裏話は次号で、新しい写真のお披露目は十一月の公演チラシになりそうです。



北海道 (佐藤撮影)

主な活動

- イベントスタッフ
- 4月 春のハモニカコンサート
- 5月 花と緑の井草祭り
- 7月 夏の妙法寺祭り

朗読授業
5月 中学校

特別支援センター
パフォーマンス
毎月 第2、第4 木曜日

もう一つ、これまでと変わった取り組みも始めます。それは、本季刊紙の作成と公式SNSアカウントの追加です。今まではホームページとFacebookだけでしたが、七月から既にX(旧Twitter)を始めており、SNSも追加予定。いつでもイベントや公演等について発信していきます。今年ももう半年以上が過ぎ、これから年末にかけて児童劇公演も増えてきます。秋に入ってもまだまだ残暑厳しい日々、私たちの元気な姿を覗いていただき、皆様も元気になっていただければ幸いです。

二世代自主公演始動!



二世代メンバー

前期の総会時に、二世代が中心となって一般公演を企画制作する事が決まり、四月に劇場が決まりました。場所は西荻窪駅から歩いて八分程にある「遊空間がざびい」。カンパニーが以前からお世話になっている劇場です。公演は十一月の四日間を予定しています。現在、キャストの選考と、演出と脚本担当による台本の詰めに入っており、本格的な稽古は九月から。今回は、二世代オリジナルの団体名「お芝居やさんリバーシプロジェクト」での初公演。キャストや公演日程等の詳細については、九月頃からホームページでも順次お知らせする予定なので楽しみに待っていて下さい。

鈴木&桜 息ぴったりの朗読披露



左から鈴木、桜

去る八月一日、リディングパフォーマンスグループ「ウォーターフロア」主催で、旭町南地区区民館において「名作お届け便@光が丘」が開催されました。演者六名のうち、五名で人体の臓器等の気持ちを語った、東海林さだお作「人体の言い分」では、今回演者として参加していた桜が「心臓」、鈴木が「胃」の気持ち熱演。続いて、今回初披露の鈴木雅也作「もう一つの桃太郎」は二人の共演。桜と鈴木でナレーションから登場人物全てを演じるというもの。おじいさんとおばあさんの子供であることには違いない太郎だけれども、大きな桃から産まれたわけではないよう?定番サ、イヌ、キジの意味とは?といったもの昔話とは一味違う話が展開される。木琴や拍子木などの効果音もその場で入り、賑やかに楽しい時間となりました。



終演後

春から夏のイベント活動



花と緑の井草祭り

毎年、五月に開催される「花と緑の井草祭り」。今年はイベントスタッフとして鈴木、桜、藤本が参加しました。天気は良好。この時期としては暑いくらいでしたが、お祭りを楽しく人達で大賑わい。恒例のおやじバンドSINGERSの演奏と「猫のまねき」のパフォーマンスもありました。次回この酷暑の夏が過ぎてからの十月ですが、はてさて暑さはどのくらい収まっているのでしょうか。七月には、妙法寺境内にて「夏の千日紅花祭り」が開催され、鈴木と桜がスタッフとして参加しました。お天気は終日良かったのですが、外気温は日中三十六度にもなり、日陰でも汗だくでした。その暑さにも負けずライブやダンスパフォーマンスなど、暑さを吹き飛ばすような催しも沢山。スタッフの仕事も大忙しでした。今年はおじいさん、おばあさん、頑張った夜は天の川を見ながらゆっくりくつろいだ方も多いのではないのでしょうか。十一月には「千日紅奉納祭」があります。十月の井草祭りもスタッフで活動していますので良かったらぜひ足をお運びください。



左から藤本、桜、山崎

今後の活動予定

- 9月 NHCハモニカコンサート イベントスタッフ
- 10月 花と緑の井草祭り イベントスタッフ
- 11月 お芝居やさんリバーシプロジェクト 一般公演 千日紅奉納祭 イベントスタッフ 荻窪音楽祭 イベントスタッフ
- 12月 障害者ふれあいフェスタ イベントスタッフ 中学校朗読発表会

※児童劇活動については不記載

児童劇、イベントスタッフ、MC 等のご相談は

お芝居やさん鈴木 KE 企画カンパニー

お問い合わせはこちら e-mail s-masaya@f5.dion.ne.jp
Tel 03-3395-6394
携帯 090-1819-2216

お芝居に興味ありませんか?

児童劇・一般公演等に出演してみたい方募集中!

公式 SNS : Facebook、X(旧 Twitter) やってます。

検索 お芝居やさん



カンパニー すべしゃる

2018年6月に「お芝居やさん鈴木 KE 企画カンパニー」として出発した私たち。
今号では、フリーマーズの頃からお世話になっている皆様にも、またカンパニーになつてからの皆様にも楽しんでいただけるよう、カンパニーの紹介と役者の紹介を特集として掲載しました。
改訂 2024年9月22日



カンパニーの営業活動を行ってきました。



児童劇

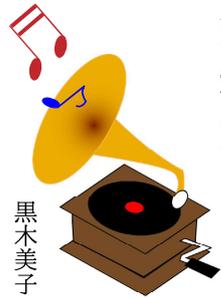
まずは、私の子どもたちが通つてた児童館で、年一回の「ふれあい劇場」無料公演を七年間やってました。その後は、他の児童館や保育園、幼稚園でもオリジナル児童劇を。また、劇場や施設でのお芝居や、大人に向けてのパフォーマンス朗読等の営業活動を行ってきました。



創立時メンバー

昭和の「十年ひと昔」という言葉がある。昭和から平成、令和になって六年。昭和はそろそろ四昔というところだろうか。昭和生まれからすると少し前に思えることが、もう二十年前ということもざらである。

色々な出来事についてもそうだが、家電製品の性能向上も昭和の時代からは想像も出来なかつた物が溢れるようになった。私は幼少の頃、宮崎県の真ん中辺りに位置する田舎に住んで居たので、古い物を目にする機会に恵まれていたと思う。親戚の家には置一畳ほどの所謂家具調のステレオが鎮座していた。また、知人の家にはその頃でも珍しい「蓄音機」があり、ピックアップのようならっパ型のスピーカーがついていた。本体横にあるハンドルを手で回してゼン



黒木美子

マイを巻き、レコードを回転させるのだが、巻いてしばらくすると、回転速度が落ちてきて間延びした音になる。子供にはかえってそこが面白かつた。またどこかで触つてみたいものである。

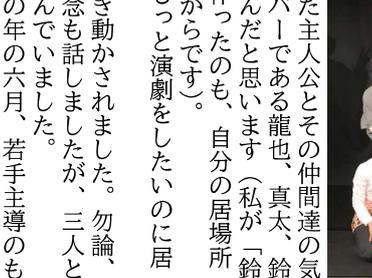
・どのような活動をしていましたか？



フリーマーズの頃

「鈴木 KE 企画」の前「お芝居やさん」を付けたのは、何をしていた団体なのか分かりやすくするためです。「フリーマーズ」

「なんで組織？ 劇団？ にしないの？」と、飲み会の席で訊かれていました。この「幸せのかたち」のお話が、居場所を求めていた主人公とその仲間達の気持ちが、現メンバーである龍也、真太、鈴夏にリンクしたんだと思います（私が「鈴木 KE 企画」を作つたのも、自分の居場所を作つたからでした）。



幸せのかたち

「実は、我々ももっと演劇をしたいのに居場所がない」この言葉に突き動かされました。勿論、前述した私の懸念も話しましたが、三人とも劇団創立を望んでいました。そうして、その年の六月、若手主導のものと「カンパニー」が創立されました。この年どうやって若い子達がいて、私達がフリーマーズとして十五年近くやって来たお芝居を引き継いでいって貰えるなんて本当に有難いです。



らっきょう



カンパニーメンバーと

・鈴木 KE 企画を立ち上げたきっかけは？

それまで所属していた劇団が分離したのですが、私達はお芝居が大好きで今後も続けるにはどうしたらいいかと考えたのです。幸い、私達の周りにはフリーで活躍している心強い芝居仲間がいたので、協力してお芝居を続けていく事にしました。

・名称を「お芝居やさん鈴木 KE 企画」として「フリーマーズ」としたのは？

「鈴木 KE 企画」が私達夫婦の本名で、「KE」は「一家」の事です。ホーム、アットホーム、家族、仲間など温かさをイメージするものを付けました。単純に漢字で書くよりローマ字の方が面白いかなと。

・フリーの役者を集める「フリーマーズ」から、劇団としての「カンパニー」に変わったのは？

そもそも、それまで「劇団」という形にしかつたのは、組織にしてしまおうと人を束縛することになる、所属している以上何をすることも「劇団」を優先しなくてはいけないからなんです。ずっと、その考えを持っていたのですが、きっかけは平成三〇年三月の公演「幸せのかたち」でした。それまでも、何度かフリーマーズと一緒に活動していた若手から「なんで組織？ 劇団？ にしないの？」と、飲み会の席で訊かれていました。この「幸せのかたち」のお話が、居場所を求めていた主人公とその仲間達の気持ちが、現メンバーである龍也、真太、鈴夏にリンクしたんだと思います（私が「鈴木 KE 企画」を作つたのも、自分の居場所を作つたからでした）。



桜さとみ

カンパニー主宰
鈴木 KE 企画を立ち上げた1人でもある。響、脚本、制作を担当

・フリーの役者を集める「フリーマーズ」から、劇団としての「カンパニー」に変わったのは？

そもそも、それまで「劇団」という形にしかつたのは、組織にしてしまおうと人を束縛することになる、所属している以上何をすることも「劇団」を優先しなくては

・フリーの役者を集める「フリーマーズ」から、劇団としての「カンパニー」に変わったのは？

そもそも、それまで「劇団」という形にしかつたのは、組織にしてしまおうと人を束縛することになる、所属している以上何をすることも「劇団」を優先しなくては

役者紹介



寿崎千尋
じゅぎさちひろ

出身は福岡県高校を卒業してから上京し、武蔵野美術大学に通う。卒業後に小劇団の舞台に出演したのがきっかけで鈴木と知り合い、それからの縁でフリーマーズにも出演するようになる。



・鈴木 KE 企画との出会いは？

寿崎 フリーマーズに関わる前からの知り合いだったんです。鈴木 寿崎が美大を卒業した後に関わつた「服部工舎」という小劇団の公演で初めて会つたんです。僕が二十四歳で寿崎が二十歳くらいだったかな。

・印象はどうでしたか？

寿崎 あつたかい印象でした。

・今まで出演した作品で一番好きな演目はどれ？

寿崎 「らっきょう」ですね。朗読でもお芝居でも現代の「海江田翠」を演じました。何度演つても、

・お芝居を始めた、好きになつたきっかけがあれば教えてください。

寿崎 改めて訊かれると、これといったものは...。鈴木 寿崎が初めて出た「服部工舎」の舞台にぼくも噛んでたんですが、その時知り合つた仲間とのつながりについて聞いたら色々な舞台を踏むことになつたんだらうね。